

第七十四回帝國議會 名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案 委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政府提出)

會議

昭和十四年二月六日(月曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高橋壽太郎君

理事大島 寅吉君 理事太田 理一君

理事塚本 三君 理事立川 平君

佐藤 與一君 木原 七郎君

中野 邦一君 石坂 養平君

庄司 一郎君 丸山辨三郎君

濱地 文平君

同月二日委員村上紋四郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ小野寅吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

大藏參與官 矢野庄太郎君

大藏書記官 植木庚子郎君

文部參與官 野中 徹也君

文部省專門 學務局長 男爵山川 建君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 土屋清三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル

法律案(政府提出)

○高橋委員長 是ヨリ名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キマス、先ヅ政府委員ノ説明ヲ求メマス

○矢野政府委員 名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由ニ付テ説明ヲ申上ゲマス、名古屋帝國大學創設ニ伴フ帝國大學特別會計及官立大學特別會計ノ關涉ニ關スル法律案提出ノ理由

ニ付キマシテハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、現下内外ノ情勢ニ顧ミマシテ昭和十四年度ニ於テ、新ニ醫學部及ビ理工學部ヨリ成ル名古屋帝國大學ヲ創設シテ、其ノ醫學部ハ現在ノ名古屋醫科大學ヲ移シ替フルコト相成リマシタル所、之ニ伴ヒマシテ昭和十三年度末現在ノ官立大學資金ニシテ名古屋醫科大學ノ用ニ供スルモノ及ビ昭和十三年度官立大學特別會計ノ歲入殘餘ニシテ名古屋醫科大學ニ屬スルモノハ、何レモ之ヲ帝國大學資金ニ編入シ、名古屋帝國大學ノ資金ト致シマス等、帝國大學特別會計ト官立大學特別會計トノ關涉ニ關スル法律案委員會會議錄

涉ニ關スル法律ヲ制定スルノ必要ヲ認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス、何卒御賛成ヲ御願致シマス

○高橋委員長 大藏省ノ政府委員ニ御質疑ゴザイマセスカ——今日ハ大藏省ノ政府委員ハ御歸リ下スツテモ宜シウゴザイマス、ソレデハ文部省關係ノ御質疑ガゴザイマスレバ……

○庄司委員 名古屋帝國大學關係ノ法案ニ付キマシテハ、大體當局ノ御説明デ萬事了承ト云フ形デゴザイマスガ、之ニ關聯ヲ致シマシテ文部省ニ東北帝國大學ノ工學部航空工學教室新營費トシテ、四十二萬八千九圓ト云フノガ、十四年度カラ向フ三箇年繼續計畫ヲ以テ計上サレテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ東北帝國大學ノ航空工學教室ノ新シイ御計畫ハ、航空技師ノ養成ヲ目的トサレタモノデアリヤ否ヤヲ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、序ニヤハリ東北帝國大學ニ關スル御尋デゴザイマスガ、東北帝國大學ノ農業研究所ト云フ新シイ研究所ヲ十四年度ヨリ御計畫ニナラレマシテ、多少ノ豫算ヲ求メラレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ東北帝國大學ノ農業研究所ナルモノハ、特ニ全國的ナ一般的ナ農業ノ研究所ニテラズシテ、或ハ東北振興ノ目的カ、或ハ東北ノ特殊ナ風土、或ハ氣候、或ハ年々歳々頻發スル所ノ冷害災害ト云フヤウナ、特殊ナ方面ノ關係ヲ調査サレマシテ、東北ノ災害ヲ未然ニ防止スルト云フヤウナ、國策東北振興ノ建前ヨリ、農業研究所ト云フヤウナモノヲ御開所ナサレルノデアアルカドウカ、其ノ點ニ關シテ努メテ詳細ニ文部省ノ御意向、御計畫ノアル所ヲ參考ノ爲ニ尋ネテ見タイト思フノデアリマス

○山川政府委員 東北ノ航空工學教室ノ新設ニ伴フ新營ハ、今御話ノ通り航空技師ヲ養成致ス積リデアリマス、御承知ノ通り航空學科ト云フモノハ、今日東京、大阪、九州ノ帝國大學、是ダケニ既ニ航空科ノ卒業生ヲ出スノデアリマスガ、更ニ十四年度ヨリ御話ノ東北、東京ノ工業大學、是等ノ大學ニ航空學ノ專攻學生ヲ入レマシテ、今日最モ進歩ノ甚シイ航空ニ關スル技術者ヲ養成致ス譯デアリマス、今日非常ナル發達ヲ致シマシタ民間ノ航空並ニ國防上ノ航空其ノ他技術者ヲ非常ニ必要ト致シマシテ、今日程度デハ到底間ニ合ハナイヤウナ狀況デ

アリマス、只今申上げマスヤウニ東北帝大
竝ニ東京工業大學デ相當ノ卒業生ヲ出スヤ
ウニナリマスレバ、大體今日ノ狀態ニ依リ
マシテ需要ヲ滿シ得ルヤウニナルト思ヒマ
ス、御話ノ通りデアリマス

ソレカラ第二點ノ東北大學ノ農業研究所
ハ、御承知ノ通りニ縣、市竝ニ財團法人ノ寄
附金ガゴザイマシテ、色々建物ヲ建テマシ
テ國家ニ寄附スルコトニナツテ居ルノデア
リマス、昭和十四年度ノ豫算ハ極メテ貧弱
デアリマスケレドモ、段々ニ充實致シマシ
テ目的ヲ完成致スヤウニ相成ラウト思ヒマ
ス、御話ノヤウニ東北ニ於キマスル寒害、
冷害、其ノ他東北特有ノ農作物其ノ他ニ及
ボス影響ヲ主トシテ調ベル爲ニ、御話ノゴ
ザイマシタヤウニ國策ノ線ニ沿フト云フ意
味合ニ於キマシテ農業研究所ガ出來ル譯デ
アリマス、但シ其ノ基礎トシテ勿論一般的
ノ農業ニ關スル色々ナ研究モ致シマスケレ
ドモ、重點ハ東北特有ノ氣候風土ニ關係ノ
コトヲ十分ニ研究致シタイト云フノガ目的
デゴサイマス

○庄司委員 諒承致シマシテ、私ノ質問ハ
是デ終リニ致シマス

○高橋委員長 外ニ質問ハゴザイマセヌ
カ——ソレデハ委員外ノ議員土屋清三郎君

ヨリ、醫學、藥學教育ニ關スル件デ政府當局
ニ質問ヲ致シタイト云フ希望ノ申出ガアリ
マスカラ、之ヲ許シマス——土屋君

○土屋清三郎君 私ハ極ク簡單ナ問題デア
リマスガ、此ノ際文部當局ニ御尋致シマ
ス、本年ノ官立醫科大學ノ收容人員ニ對シ
マシテ、高等學校ノ理科ヲ卒ヘテ大學ニ入
學スベキ志望者ノ數ハ、遙ニ定員ニ滿タナ
イト承知致シマスガ、左様ナ事實ガアリマ
スカ、若シ其ノ事實アリトスレバ、ソレニ
對スル當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ

○山川政府委員 只今土屋サンカラ御話ノ
アリマシタヤウニ官立ノ單科大學ニ於キ
マシテ定員ヲ滿タシ得マス大學ハ、名古屋
ノ醫科大學、千葉ノ醫科大學、此ノ二校ノ
ミデゴザイマシテ、他ハ定員ニ滿タナイ現
況デアリマス、是ハ如何ナル理由デスウ云
フコトニナリマスカト申シマス、大體生
産力擴充其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、高
等學校ノ理科ノ卒業生ガ昔ハ醫學部ヘ殺到
シタモノデアリマスガ、現今ハ工學部ノ方ヘ
割合ニ餘計行クト云フヤウナ關係モアリマ
シテ、今申上げマシタヤウナ「醫科大學ヲ除ク
外ハ定員ニ滿タナイト云フ狀況デアリマス、
但シ當局ト致シマシテハ斯ウ云フ醫學ヲ修
メマス學生ガ定員ニ滿タナイト云フコトハ

非常ニ困ツタコトデアリマシテ、今日醫者
ガソナニ要ラナイカト申シマス、サウ
デハナクシテ、醫者ノ需要ハ相當ニ大キイ
ノデアリマス、隨ヒマシテ今年度カラハ多
少工夫ヲ致シマシテ、志望ガアレバ文科ノ
學生デモ試験ノ上相當ノ成績ヲ得マシタ者
ハ醫科大學ノ入學ヲ許スヤウナ特殊ノ手段
ヲ執リマシテ、何トカ各大學共定員ニ滿チ
マスヤウニ努力ヲ致シタイト考ヘテ居ル次
第デアリマス

○土屋清三郎君 只今ノ御説明ニ依リマス
ト、本年工科ノ方ノ志望者ガ生産力擴充ノ
影響ヲ受ケテ多クナツタ、其ノ爲ニ醫科ノ方
ガ少クナツタト云フ風ナ御説明デアリマシ
タガ、私ノ聞ク所ニ依リマス、是ハ本年
新ニ起ツタ所ノ現象デハナクテ、過去數年
來段々トサウ云フ工合ニナツテ、定員ニ滿
チ得ナイデ可ナリノ無理ヲシテ埋合セタ單
科大學ガ、昨年アタリモ相當アツタヤウニ
考ヘルノデアリマス、サウシマス、其ノ
原因ヲ單ニ此ノ時局ニ對シテ生産力擴充ノ
爲ニ工科方面ノ志望者ガ多クナツタト云フ
ダケデハ解セラレナイト考ヘマス、此ノ點
ヲドウ御考ニナツテ居ラレカ、今一ツハ
其ノ救済方法トシテ、文科ノ出身者ヲ醫科
ノ方ニ收容スル途ヲ講ゼラレ、斯ウ云フ

コトデアリマスルガ、是ハ洵ニ窮餘ノ措置
デアツテ、御承知ノ通り醫學ハヤハリ理學
ヲ基礎トシテ學ブモノデアリマスカラ、豫
メ理學ノ基礎知識ナクシテ醫學ヲ學ブト云
フコトハ、結局變則ナル醫者ヲ作ルト云フ
コトニナル、ソレデアリマスカラ、只今ノ
文科ノ出身者ヲ醫科ヘ振向ケルト云フコト
ハ、洵ニ好マシカラザル手段デアツテ、私
ハ根本的ニ政府ガ別ニ御考ニナラナケレ
バナラナイノデハナイカト考ヘルノデアリ
マスガ、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○山川政府委員 只今土屋サンカラ御話ノ
アリマシタヤウニ、生産力擴充ノ關係ノミ
デハ勿論ナイノデアリマシテ、其ノ他ニ東
京デアルトカ、或ハ京都デアルトカ云フ、
比較的歴史ノ古イ大學ニ殺到致シマシテ、
歴史ノ新シイ單科大學ニ餘リ行カナイト云
フヤウナ學生ノ希望モ勿論手傳ツテ居ルノ
デアリマスガ、是モ段々ト單科大學ガ努力
ヲ致シマシテ、相當ニ教授ノ選擇モ嚴重ニ
シ、又設備其ノ他ニモ配慮ヲ致スト云フコ
トニナリマスレバ、段々ト地方ノ單科大學
ニモ學生ガ行クヤウニナルノデハナイカト
思フノデアリマスガ、大キナ原因ハ何ト申
シマシテモ就職ニ便利デアル所ノ工學部ヘ
殺到スルト云フコトガ、色々原因ハアリマ

スケレドモ、主ナル原因デアラウト思フノデアリマス

ソレカラ御尋ノ第二點ハ、文科ノ卒業生ヲ入レルコトハ、窮餘ノ一策デアツテ、根本的ニ何カ考ヘル必要ガアルノデハナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ御尤デアリマシテ、吾々ト致シマシテ單科大學ガアリマス以上ハ、何トカ其ノ定員ヲ滿タスダケノ學生ヲ收容シタイ、其ノ根本的ノ對策モ勿論今研究中デアリマススケレドモ、差當リコ

コ數年定員ニ滿チマセヌ學校ニ付キマシテハ、文科ノ相當ニ成績ノ良イ學生ヲ入レタナラバ宜カラウ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマス、御話ノヤウニ元來ナラバ理科ヲ出マシタ者ガ三部ニ行クノガ當然デアリマスケレドモ、併シ文科ノ學生ニ致シマシテモ、何トカ夏休其ノ他ノ時期ニ於キマシテ動植物ニ關スル實驗實習、或ハ多少數學ノ素養ガ足リナイカモ知レマセヌノデ、サウ云フ方面ノ補講デモ致シマスレバ、サウ素質ノ惡イ醫者ガ出來テ、將來困ルト云フヤウナコトハナイト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○土屋清三郎君 尙ホ序デアリマスガ、今度ノ事變ニ鑑ミマシテ醫學教育ノ内容ヲ修正スル必要ガアリハシナイカ、今日ノ醫學ハ御承知ノ通り治療ニ全力ヲ注イデ居リマ

ス、其ノ治療醫學ノ中デモ、學校ヲ卒業スレババラ／＼ニ各科ニ分レテシマヒマシテ、非常ニ専門的ニナツテシマフ、併シ一般的ニハ病氣ヲ診斷スル能力ト、ソレカラ治療スル上ニ於テハ、内科ト外科ト云フモノハ、ドウシテモドンナ醫者デモ一應ハ實際ニ修得シナケレバナラス、

所ガ卒業スルト内科ハ内科ニ行ツテシマヒ、外科ハ外科ニ行ツテシマツテ、内科ノ醫者ハ外科患者ガ飛込シテ來タ場合ニ之ヲ處理スルコトガ出來ナイ、サウ云フヤウナ狀態デ平常今マデヤツテ來マシタノデ、今度事變デ醫者ガ不足ダツテ徴發シテ見マスト、戰地ニ於テハ殊ニ戰傷ガ多イノデアリマスルカラ、其ノ方面ニ間ニ合ハナイト云フヤウナ結果ヲ來シテ居ルヤウニ考ヘマス、ソコデ今後ノ醫學教育ハ豫防醫學ト治療醫學ニ十分力ヲ入レルト同時ニ、治療醫學ニ携ハル者ニ對シテハ、外科的ノ一

通りノ技術ヲドウシテモ教ヘ込シテ置ク必要ガアリハシナイカ、サウ云フコトニ付テ御考ガアレバ承ツテ置キタイト思ヒマス

○山川政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマス、豫防醫學及治療醫學ニ於テ、治療醫學殊ニ外科的ノ素養ヲ十分ニシテ置ク必要ガアリハシナイカト云フ御質問ニ對シマシテハ、當局ト致シマシテモ御同感デアリマス、尙ホ御承知ノヤウニ醫者ガ戰地ヘ參リマスヤウナ機會ガ非常ニ多イノデアリマシテ、昨カラ軍事醫學ヲ正科若クハ隨意科ト致シマシテ、特ニ醫學專門學校或ハ醫科大學ニ於キマシテ實習セシメテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、將來治療醫學ニ於キマシテ外科方面ニ特ニ力ヲ注グト云フコトニ付キマシテハ、十分一ツヤツテ見タイト考ヘテ居リマス

○土屋清三郎君 モウ一ツ、既ニ資格ヲ得テ醫者ニナツテ居リマス者モ、開業後十數年或ハ數十年ニナリマスルト、進歩スル醫學ニ非常ニ遅レル、ソレデ其ノ遅レタ人達ニ對スル再教育ニ付テ何カ御考ガアリマスカ

○山川政府委員 既ニ卒業シテ十數年經チマシタ者ニ付テノ再教育ト云フコトハ、目下文部省トシテハ考ヘテ居リマセヌ

○土屋清三郎君 數日前産業組合ノ大會ガ催サレマシテ、ソコデ産業組合内ノ醫療組合ニ於テ使用スル醫者ヲ養成スル爲ト稱シテ醫學專門學校ヲ設立スル、ソレニ對シテハ既ニ文部當局ニ於テ諒解ヲ與ヘテ居ルト傳ヘラレテ居リマスガ、左様ナ事實ガアリマスカドウデアリマスカ、序ニ現在ノ醫學

專門學校ニ對スル當局ノ御所見並ニ今後醫學專門學校ヲ設立セントスルモノニ對スル認可ノ方針ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○山川政府委員 醫學教育ニ付テノ御尋デアリマスカラ、今マデノ醫學教育ニ對スル方針ニ付テ少々詳シク御話シテ見タイト思フノデアリマス、土屋サンモ御承知ノ通り、我國ニ於キマシテ醫學部、或ハ醫科大學、或ハ醫學專門學校ヲ毎年出マス新規ノ卒業生ハ、三千數百人居ルト思フノデアリマス、是ガ全國ニ或ハ研究者トナリ、或ハ又開業醫トナリ、或ハ又開業醫ノ助手トナツテ社會ニ出ル譯デアリマスガ、今日我國ノ醫者ノ分布ノ狀態ヲ見マスルト、歐米ノ大都市ニ比ベマシテ、東京トカ大阪トカ其ノ他日本ノ大都市ノ分布狀態ヲ見マスルト、決シテ其ノ密度ハ薄クナイノデアリマス、相當ニ醫者ノ數ガ多イト云フコトニ相成ツテ居リマス、就キマシテ今日マデ文部省ト致シマシテハ、新設ノ學校ヲ認メテ醫者ヲ増スト云フコトニ付キマシテハ、實ハ考ヘナカツタノデアリマス、何トナレバ此ノ社會狀態ヲ此ノ儘ニ致シテ置キマシテ、醫者ノ數ヲ徒ニ殖ヤスト云フコトハ、醫者ノ共倒レト云フヤウナ結果ヲ招來スル虞ガ多分ニアツタカラデアリマス、又一面ニ於キマ

シテハ、醫者ハ人ノ身命ニ關スル非常ニ重要ナル職業デアリマスルカラ、サウ餘計拵ヘテ、假ニ不完全ナ者ガ出ルト非常ニ困ル關係ニナリマスノデ、醫學專門學校ノ新シキ設立ト云フコトハ、文部省ノ方針トシテ今日マデ認メテ居ラナイヤウナ狀態デアツタノデアリマス、但シ御承知ノ通り日本ニ於キマシテ無醫村ガ相當數アリマシテ、約二千モ考ヘラレルノデアリマス、サウ云フヤウナ譯デ、今日醫者ガ要ラヌカト云フト要ラヌ譯デハナイノデ、都會ニ醫者ガ集中スルト云フ結果ヲ生ジマスノデ、只今申上ゲマシタヤウニ共倒レニナルヤウナ虞ガ多分ニアルノデアリマスカラ、厚生省其ノ他醫務行政ニ關ヘル關係ノ方面デ、相當社會政策的ニ何カ醫者ノ分布狀態ヲ變更サセルト云フ施設ヲ考慮致シマシタ後、デナケレバ、ヤタラニ醫者ヲ唯自然ノ儘ニ増スト云フヤウナコトハ、ドウモ弊害アツテ利スル所ガ少ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ來タノデアリマス、唯此ノ事變ガ起リマシテ、滿洲ノ移植民ト云フヤウナ關係モアリ、又支那ニ於ケル衛生狀態ノ改善ト云フコトモアリマスノデ、文部省ト致シマシテハ今日マデハ新シキ醫學專門學校ハ認メナイト云フ方針デ來テ居リマスケレドモ、十分斯界ノ權威者ト相談ヲ

致シマシテ、此ノ方針ヲ尙ホ繼續スルカドウカト云フコトニ付テハ、近ク再檢討ヲ致シテ見タイ、其ノ結果今日マデノ方針ヲ繼續致シマスカ、或ハ多少ノ修正ヲ致シマスカハ、今後ノ檢討ノ結果ニ依ツテ決マルコトデアリマシテ、今日マデハ新シキ醫學專門學校ハ認メナイト云フ方針デアリマス

○土屋清三郎君 左様致シマスト、産業組合ニ對シテ何等ノ諒解ヲモ與ヘテ居ナイト云フコトニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○山川政府委員 諒解ヲ與ヘテ居リマセヌ

○土屋清三郎君 更ニ藥學教育ニ付テ御尋シタイノデアリマスガ、御承知ノ通り醫學教育機關ハ大學ダケデモ官公私立ヲ合セテ二十前後、專門學校ヲ合セレバ三十ニ近イト承知シテ居リマスガ、之ニ對シテ藥學デハ、大學デハ東京及ビ今度京都ニ出來ル二ツ以外ニハ無い、從來專門學校デアツテ藥學ト醫學トヲ並立シテ居ツタ千葉、金澤、長崎、岡山、仙臺ソレ等ノ中千葉ト金澤ト長崎ダケガ單科醫科大學ニ昇格シタ後ニ藥學部ハ專門部トシテ殘サレテ附屬シテ居リマス、ソコデ醫學教育ヲ盛ニシテ良イ醫者ヲ拵ヘルコトノ必要ナコトハ申スマデモアリマセヌガ、同時ニ之ニ向ツテ治療材料ヲ製造供給スル所ノ優秀ナル藥學者ヲ作り出スト云

フコトモ、極メテ必要ナコトダト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ先年同志ト共ニ此ノ千葉、金澤、長崎ノ三醫科大學ノ附屬藥學專門部ヲ大學ニ昇格シテ欲シイト云フ建議案ヲ出シタノデアリマスケレドモ、ソレヲ當局ニ於テハドウ云フ風ニ御取扱ニナラレテ居リマスカ、殊ニ今マデノ藥學ト云フモノハ、唯醫療用ノ藥學ニ關スルダケノ學問デアリマスケレドモ、私ハ其ノ範圍ヲ廣ク擴大致シマシテ、工業ニ關スル化學モ藥品モ共ニ製造研究シ得ル人間ヲ養成スル意味ニ於テ、藥學專門部ヲ大學ニ昇格シ、同時ニ其ノ内容ヲ擴大スルト云フコトガ極メテ必要デアル、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマスガ、當局ニ於テハ此ノ點ヲドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマスカ

○山川政府委員 今御話ノアリマシタヤウニ、千葉ト金澤ト長崎ニ專門部ガアル譯デアリマスガ、御話ノヤウニ各ソレノ專門部ヲ大學ニ昇格シタラ宜イデハナイカト云フヤウナ御話ガアリマシタコトハ、私トシテモ能ク承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、又現狀ト致シマシテモ、藥學專門部デアリマス、色々ナ關係ニ於キマシテ主力ガ大學ノ方ニ注ガレマシテ、藥學專門部ハ極メテ氣ノ毒ナ狀態ニアリマスコトハ事實デア

リマス、併シナガラ之ヲ直チニ各ソレノ三ツノ地方ニ於キマシテ之ヲ大學ニ昇格スルノガ宜イカ、又其ノ三ツノ專門部ヲ一ツ處ニ集メテ一ツノ大學ニ昇格サセルノガ宜イカ、或ハ大學ノ昇格ト切離シテ、何トカ大學ト全然豫算ヲ別ニスルトカ、或ハ其ノ他適當ナ考慮ヲ拂ツテ、藥學專門部ト云フモノニモウ少シ活ヲ入レル方法ヲ講ズルノガ宜イカ、當局ト致シマシテハ種々ナル場合ヲ豫想致シマシテ研究ヲ致シテ居ル譯デアリマス

○大島委員 本案ニ直接關係ハアリマセヌガ、定メシ本案モ生産擴充或ハ時代ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、理工科ノ必要カラ生レタモノデアラウト思フノデアリマスガ、ヨク是マデ新聞等ニ傳ヘラレテ居ル所ニ依リマス、各地ニ高等工業ヲ或ハ十校位造ルト云フコトモ傳ヘラレ、又ハ三校カ四校位造ラレルデアラウト云フヤウナコトモ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、又中ニハ商工省アタリガ物資ノ輸入關係等モアルノデ、新ニ造ルコトニハ贊成セヌノデ、成ベク各「クラス」ノ人員ヲ殖ヤシテ、出來ルダケ技術員ヲ養成シヨウト云フヤウナ方針デアルト云フヤウナコトモ傳ヘラレテ居ルノデアリマシテ、吾々ハ文部省ノ只今ノ方針ガ何處ニアルノ

カト云フコトヲ捕提スルコトガ出來ナイノ
デアリマスガ、之ニ付テ大體ノ方針ガ御決
定ニナツテ居リマスレバ、御同致シテ置キ
タイと思フデアリマス

○野中政府委員 今ノ御尋デゴザイマス
ガ、文部省内ニ於キマシテサウ云フ意見ト
立案ノアルコトハ事實デゴザイマス、現今
ノ時勢ニ於キマシテハ技術家ヲ非常ニ必要
ト致シテ居リマス、企畫院ノ調査ニ依リマ
スレバ、色々生産擴充ノ結果、各方面ニ於
テ必要ナル技術家ノ人數ガ約五万人トサレ
テ居リマス、此ノ五万人ヲ如何ナル方法ニ
依ツテ補充シ、教育シテ行クカト云フコト

ニ付キマシテ今考慮中デアリマシテ、差當
リ本年度ニ於テ工業大學ヲ十一校、又明年
度ニ於テ五校乃至七校——是ハ現在ハ豫算
ノ關係上、又ハ企畫院トノ關係ニ於テ正確
ニハ決ツテ居リマセヌ、併シ今マデノ様子
ニ依リマスレバ、差當リ十一校ハ出來ルヤ
ウニモ思ハレマスガ、ソレガ何處ニ設立サ
レルヤウニナルカハ未確定デゴザイマス

○大島委員 大體文部省ノ意ノアル所ハ分
リマシタガ、ヨク學校ヲ造リマス、東京
トカ大阪トカ云フヤウナ所ガ第一ニ數ヘラ
レルノデアリマスガ、吾々ガ考ヘマス、
今日ノ時代ハ成ベク各地ニ分布スルコトガ

教育上宜イノデハナイカト云フコトモ考ヘ
ラレマスルシ、又生産擴充ト云フヤウナ意
味合カラ申シマス、資源ノアル處ノ近ク
ニ學校ヲ設立スルコトモ一ツノ良イ方法デ
ハナイカト考ヘラレマスガ、勿論何處々々
市デアルトカ、何々縣ト云フヤウナ、的確
ナコトヲ此處デ伺フ譯デハアリマセヌケレ
ドモ、大體ニ於テ文部省ノ御方針ガ、從來
ノ如キ單ニ東京トカ大阪トカ云フヤウナ中
央ダケニ重キヲ置イテ學校ヲ先ヅ置カウト
云フヤウナ御考デアルカ、又ハソレ等ニ付
テドシナ御考デアルカト云フコトヲ伺ヒタ
イノデアリマス

○野中政府委員 只今ノ御話モ私共ハ非常
ニ注意ヲ致シ、考慮ヲ致シテ居リマス、御話
ノ通り都市ニ専門學校或ハ大學ヲ集中スル
ト云フコトノ善惡可否ノ問題ハ、今可ナリ
論議サレテ居リマシテ、斯ウ云フ風ニ都市
ニ大學、専門學校等ガ集中サレルカラ、ソレ
ガ農村疲弊ノ原因ヲ成スト云フヤウナ意見
モ諸處ニ於テ言ハレテ居リマス、サウ云フ
コトモヤハリ學校ヲ設置スルニ際シテハ有
力ナル見方デゴザイマスカラ、文部省ト致
シマシテ、何處ニ設置スルカト云フコトハ
マダ決ツテハ居リマセヌガ、必ズシモ都市
ニ集中スルモノニアラズト私共ハ考ヘテ居

リマス

○太田委員 工業大學ノ増設ガ新聞紙上ニ
發表サレテ以來、恐ラク文部當局ニ於テハ陳
情團ニ應接ニ違ガナイと思ヒマスガ、地元負
擔ニ付テ幾何ノ寄附ヲスルト云フコトヲ申
出ル者ガアルヤウデアリマス、是ハ地方府
縣ニ於テ色々ナ施設ヲスル場合ニモ行ハレ
ルコトデ、吾々ハ非常ニ不愉快ニ感ズル
ノデゴザイマスガ、地元負擔ノ多寡ニ依ツ
テ、之ヲ一ツノ設置條件トサレルト云フコ
トハ、無論豫算ノ關係カラ已ムヲ得ナイコト
デゴザイマセウガ、文部當局トシテハ之ニ
對シテドウ云フ御考デゴザイマスカ

○野中政府委員 今ノ御言葉デゴザイマス
ガ、實ハ文部省ノ意嚮ト致シマシテハ、二
十二校ヲ造リタイト云フ氣持デゴザイマス
ガ、ソレヲ完全ニ建設致シマスニハ、相當
ノ金額ガ掛リマスカラ、果シテ現在ノ國情
ニ於テ直チニ之ヲ承認シテ下サルカドウ
カ、大藏省トシテハ出來兼ネルノデハナイ
カト思ヒマス、サウ云フ譯デ一面ニ於テ技
術家養成ノ必要ガ今日ノ情勢デアリ、而モ
一面ニ於テ大藏省カラ費用ガ捻出サレナ
イ、斯ウ云フ「デレンマ」ニ陥ツテ居リマス
ノデ、文部省ト致シマシテモ寄附金ト云フ
ヤウナコトモ、或ハ考ヘテ居ラヌ譯デハゴザ

イマセヌ、併シナガラ其ノ寄附金ガ必ズシ
モ工業大學設置ノ絕對要件デハゴザイマセ
ヌ、勿論主要ナル要件デモアリマセヌ、主
要ナル要件ハ、其ノ工業大學ヲ設置スル地
勢、狀況、サウ云フ風ナコトガ先ヅ審査サ
レ研究セラレタ後デゴザイマシテ、地元負
擔ト云フモノハ其ノ一部或ハ幾分之ヲ補助
スルト云フ意味ヲ成スカモ知レマセヌガ、
絕對ノモノデハゴザイマセヌカラ、左様御
了承ヲ願ヒマス

○中野委員 工業大學新設ニ付テノ質疑
應答ガアリマシタガ、私モソレニ關聯シテ
御尋致シタイと思ヒマス、工業大學ヲ新設
スルニ付キマシテハ、先ヅ其ノ教員ヲドウ
スルカト云フ問題ガ起ツテ來ルト思ヒマ
ス、其ノ教員ハ大都市デアレバ、大學其ノ
他ノ施設モアリ、大工場モアルノデ、サウ
云フ所ノ者ヲ兼務ノ形デ囑託スルコトガ必
要デアルト云フヤウナコトヲ言フ者ガアル
ヤウデアリマスガ、苟モ工業大學ノ如キ重
要ナ學校ヲ拵ヘテ、其教員ハ大學ノ教員
或ハ工場デ働イテ居ル技師デアルトカ云
フヤウナ類ノ者ヲシテ兼務サセルト云フ
コトヲ考ノ中ニ置イテ、學校ヲ經營シテ
行クト云フヤウナ御考ガ、若シ多少デモア
ルトスルト、是ハ高等工業ヲ設置スル場所

ニ集中スルモノニアラズト私共ハ考ヘテ居

ガ、只今御質疑ガアツテ問題ニサレテ居ツ
タヤウナ大都市其ノ他ニ偏在スル、集中シ
過ギルト云フヤウナ弊ヲ一層助長スルヤウ
ナ結果ニナル虞モアリマス、ノミナラスサ
ウ云フ兼務ナドデ本當ノ教育ガ出來ルモノ
デハナイト私共ハ思フノデス、是ハ實際ニ
於テ經驗ノアル人デアレバ、何人モサウ云
フ片手間デヤルヤウナ教育デハ旨ク行ク譯
ハナイト云フ結論ニ達スルト思ヒマスガ、
當局ニ於テハソレ等ノ點ニ於テハドウ云フ
御考ヲ持ツテ居ラレマスカ、ヤハリ専門ノ
教員ヲ置カナケレバナラスコトハ無論言フ
マデモナイ、専門ノ教員ヲ置クト云フ場合
ニ、大學ヲ出タ新進ノ、教授トシテ適當ナ
人ガ——唯若イト云フ嫌ハアリマセウケレ
ドモ、相當供給力ガアルト思フノデス、サ
ウ云フ片手間デヤルトカ云フヤウナコトヲ
御考ニナツテ居ルカドウカ、サウ云フ點ニ
付テ一寸御尋致シタイト思ヒマス

○野中政府委員 今中野サンノ申サレマシ
タ通り、此ノ工業大學ノ教授ハ新進専門ノ
教授ヲ採用スルコトニ致シタイト考ヘテ居
リマス、併シナガラ絕對ニ兼務ヲ排斥スル
モノデハゴザイマセヌ、是ハ東京ノ帝國大
學ニ於キマシテモ、陸軍ナリ、海軍ナリ、
或ハ鐵道省ナリノ方ニ勤メテ居ル人デ、兼

務ヲナサツテ居ル方モアリマス、サウ云フ
ヤウニ特殊ノ學問ノ研究ヲナサツテ居ル人
デアリマスナラバ、強チ兼務ヲ排斥スルモ
ノニアラズシテ、要スルニ學問ノ探究ニ十
分ナ資格ヲ持ツテ居ル人ヲ教授ニ採用シタ
イト考ヘテ居リマス、ソレデアリマスカラ
必ズシモ兼務ヲ絕對ニ排斥スルト云フヤウ
ナコトハ、是ハ個々ノ問題ト其ノ狀態ニ依
ツテ言ハルベキモノデアリマシテ、一概ニ
言フベキモノデハアルマイト考ヘテ居リマ
ス

○中野委員 兼務ヲ絕對ニ排斥スルト云フ
必要ハ私モナイト思ヒマスガ、サウ云フ片
手間ノ兼務教員ヲ以テ學校ノ經營ニ付テノ
相當重要ナル要素ニスルト云フコトニナレ
バ、勢ヒ設置場所モ既設ノ工業地帶カ、既
設ノ大都市ノ大學等ノ集中シテ居ル場所ニ
事實上置カナケレバナラスヤウナコトニナ
リマスカラ、サウ云フモノヲ學校ノ要素ト
言ヒマスカ、言葉ハ語弊ガアルカモ知レマ
セヌガ、サウ云フヤウナ要件ノ程度ニ其
ノ兼務制ヲ用ヒラレルト云フコトガアツテ
ハ、私ハ設置ノ目的ニ副ハヌト思ヒマスガ、
其ノ點ハドウデアリマセウカ、尙ホ伺ツテ
置キマス

○野中政府委員 今ノ中野サンノ御意見ハ

適當ト考ヘテ居リマスカラ、成ルベクサウ
致シマシテ、所謂要件トシテ考ヘズニ、片手
間ノ連中ハ成ベク排斥致シマシテ、専門新
進ノ學者ヲ採用スルト云フ方針デ進ミタイ
ト考ヘテ居リマス

○中野委員 ソコデ私ハ希望ヲ申上ゲテ置
キマスガ、少クトモサウ云フ片手間ノ教員
ヲ得ルニ便宜デアルカラト云フ理由デ、設
置場所ヲ決定サレルコトノ斷ジテナイヤウ
ニ、眞ニ教育ノ本旨カラ考ヘテ御決定下サ
ルヤウニ希望致シテ置キマス

○野中政府委員 大體サウ諒承シテ居リマ
ス

○高橋委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、
次會ノ開會ノコトハ公報デ御知ラセ致シマ
ス

午後二時四十分散會

昭和十四年二月六日印刷

昭和十四年二月七日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局